

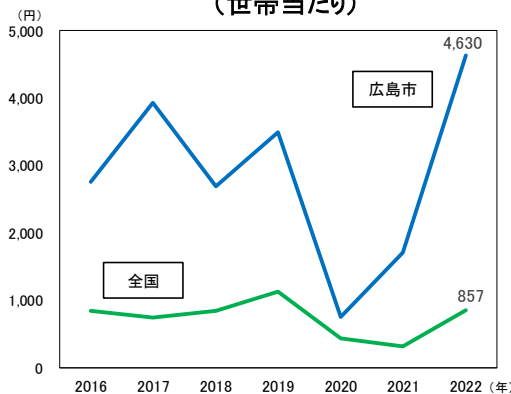
新スタジアム開業で広がる「スポーツツーリズム」の可能性

2月に新サッカースタジアムが開業

来月、広島市に「エディオンピーススタジアム」が開業します。新たなスタジアムは、観客収容数が約3万人で、「広島市中心部に位置し、ホテルや商業施設が近接しているほか、公共交通機関や主要な幹線道路や高速道路、国際空港からのアクセスが可能」といった国際大会開催に必要な要件が揃っています。

県内に様々なスポーツチームの拠点がある広島県は、全国的にみてもスポーツ観戦への支出が多い地域(2022年の広島市の家計支出は仙台市に次ぐ全国2位)ですが、新スタジアムの開業によってこうした支出や遠方からの来場が一段と拡大する可能性があります(図表1)。

図表1 スポーツ観覧料の家計支出の推移
(世帯当たり)



(注)2人以上の世帯
(資料)総務省「家計調査」より当部作成

スポーツと観光が融合する「スポーツツーリズム」

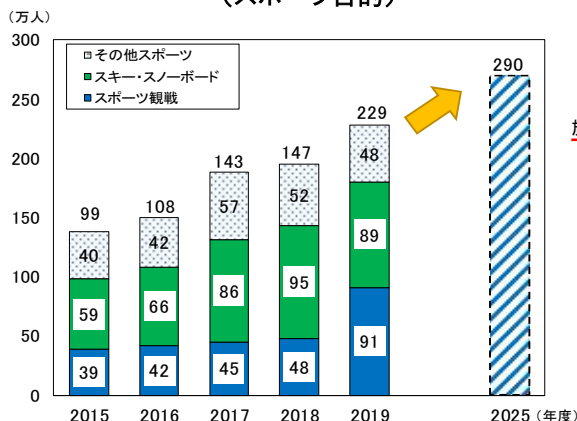
近年、スポーツの体験や観戦に観光を絡めた「スポーツツーリズム」に注目が集まっています。

観光庁が昨年5月に公表した「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」では、スポーツ目的の訪日外国人旅行者数を2019年度の229万人から2025年度には290万人に増やすという目標が掲げられており(図表2)、今後は国際大会誘致やプロスポーツ観戦を軸とした旅行商品の開発等が進むと見込まれています。

また、スポーツ庁の調査によると、スポーツツーリズムに合わせて実施したいこととして、旅先ならではの「食事」や「観光スポット」、「風景・景色」を楽しみたいとの回答が上位に挙げられています(図表3)。

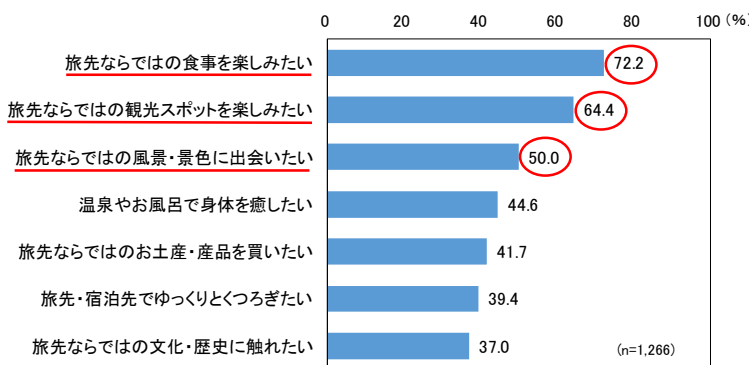
こうした中で、今後は県内においてもスポーツを起点とした国内外からの観光需要の拡大が期待されます。

図表2 訪日外国人旅行者数の推移
(スポーツ目的)



(資料)スポーツ庁資料より当部作成

図表3 スポーツツーリズムに合わせて実施したいこと
(上位7項目)



(資料)スポーツ庁「スポーツツーリズムに関する国内マーケティング調査報告書(2018年3月)」より当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に關しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：稲田(Tel.082-247-4958)までお願いします。